

# 第11回北海道プライマリ・ケアフォーラム

## \*\*\* 抄録集 \*\*\*

### ◆ワークショップ第1部 (13:00-14:20)

#### <WS1: 臨床推論>

- 【講師】：小松 守先生(帯広厚生病院)
- 【タイトル】：ドクターGを体験しよう！学生・研修医の為の臨床推論。
- 【紹介文】：チームで症例の議論をしてもらった後、最終診断に至るまでの過程を楽しく解説します。学生や研修医が楽しめるよう、お助けキャラの配置があります。
- 【抄録】：ドクターGの放送が復活しました。用意された症例を研修医が議論し、実際の診断を推論していく番組です。今回は実際の症例をもとに、チームで診断や必要な検査などを実際に考えるという「ドクターGの追体験」をしてもらうことで、臨床の楽しさを感じてもらいたいと思います。学生・研修医でも楽しく参加できるよう解説も用意していますので、気軽にご参加下さい。

#### <WS2: 嚥下>

- 【講師】：濱田 浩美先生(幌西歯科) 岡澤 瞳先生(札幌溪仁会リハビリテーション病院栄養科)  
：中川 晴絵先生(札幌溪仁会リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- 【タイトル】：『いつまでもおいしく食べ続ける』ために医療者に出来ること～嚥下に対するリハビリ、栄養、口腔ケアを中心に～
- 【紹介文】：症例を通して嚥下のリハビリ、栄養、口腔ケアの理解を深めるワークショップ、そして流動食や固形食などの介護食を食べる、食べさせるワークショップを行います！
- 【抄録】：今回は2つのワークショップを開催します。①「嚥下機能についての理解を深めよう」症例を通してリハビリ、栄養、口腔ケアについて学んでいきます。②「介護食を食す体験！」実際に流動食・固形食を食べた経験はありますか？食べる・食べさせる体験を通して、嚥下機能が低下した患者さんの気持ちを体感しながら、多職種連携についても理解を深められる内容です。本企画は楽しくわかりやすく学ぶことをモットーに学生も運営に関わっています。学生を始め、幅広い参加をお待ちしています！

#### <WS3: 地域デザイン>

- 【講師】：山田 康介先生(北海道家庭医療学センター/更別村国民健康保険診療所)、  
松浦 美郷先生(神奈川県立こども医療センター)、  
田邊 琴音先生(法政大学大学院デザイン工学研究科建築学専攻修士1年)
- 【タイトル】：医療とデザイン～パーソナル空間からソーシャルデザインまで～
- 【紹介文】：病室・薬局・まちづくりについて、3種類のグループに分かれデザインをします。なかなか学ぶ機会の少ないデザインについて、様々な背景の3人の講師の先生と皆さんで作ってあげましょう！
- 【抄録】：デザインって医療とどんな関係があるのでしょうか？私たちの関わる患者さんは入院中や地域で生活する中で様々な困りごとに直面します。医療者が病室の中から、薬局、そしてまちづくりに関わる中で、「こんなことをしてみたらどうでしょう」と意識を向けることでwell beingにつながります。明日から使えるかもしれないことから、将来こんなことをしてみたいなど持ち帰っていただくと嬉しいです。皆さんでお互い学びあいましょう。

## ◆ワークショップ第2部 (14:40-16:00)

### <WS4: EBM>

- 【講師】：長谷川 優先生(北海道家庭医療学センター/帯広協会病院)、畔柳 陽一先生(斗南病院)、井上 紗紀先生(なの花薬局南小樽店)
- 【タイトル】：EBMの実践～多職種で Step 4(患者への適用)を考えよう～
- 【紹介文】：実際の症例を用いたグループワークを通して EBM を実践しましょう。
- 【抄録】：みなさんは EBM (Evidence-Based Medicine)を聞いたことはありますか？難しい・ハードルが高いなどのイメージがあるかもしれません。今回はそのイメージを払拭するワークショップです。EBMの Step 4(患者への適用)に重点を置き、4つの要素を元に患者にとっての最善の選択を考えます。英語の論文に抵抗がある、多職種の視点を学んでみたい、忙しい業務の中で実践するコツを知りたい...！ひとつでも当てはまる方はご参加お待ちしております。

### <WS5: LGBTQ>

- 【講師】：小内 ゆい先生(勤医協札幌病院)、工藤 久美子先生(Queer Life Project)
- 【タイトル】：医療現場における LGBTQ 当事者とのコミュニケーション入門～公正なヘルスケアを提供するために～
- 【紹介文】：医療現場で必要な LGBTQ の基礎知識と用語を学び、診療を想定した実践的コミュニケーションについてのワークショップを行います！
- 【抄録】：10人に1人は LGBTQ 当事者と考えられている現在ですが、実際に医療現場で対峙する相手が当事者かどうかはわからないことが多いですよね。カミングアウトしない当事者の方や、カミングアウトした方でも情報の行き違いのために意思疎通が困難となったり、医療者の LGBTQ への知識不足は、病因発見の遅れや治療の中断、病状説明の失敗などに繋がることもあります。今回は明日から使える知識や情報を学びながら、コミュニケーションのポイントや、実際に受診で困っていることなどについて当事者の方の話を伺います。

### <WS6: 臨床倫理>

- 【講師】：川口 篤也先生(函館稜北病院)
- 【タイトル】：立ち止まり、みんなで考える臨床倫理
- 【紹介文】：日々のモヤモヤに多職種で対応する力を身に着ける方法を学びましょう！
- 【抄録】：日々の臨床で患者と家族の意向が違ったり、目の前の患者にとって何が最善か悩むことはないでしょうか？そのような時にどのように考えたら良いかわからない、周りが意見を聞いてくれない、今より上手にチームで考えられるようにしたいなど様々な思いがあると思います。そんな時には臨床倫理の出番です。このセッションでは臨床倫理的考え方、多職種でフラットに話し合う方法、そして優れた倫理的チームの作り方等を学びます。

## ◆学術集会 一般演題(口演) (16:10-17:20)

### <北海道ブロック支部第9回学術集会/第104回北海道医学大会 プライマリ・ケア分科会>

一般演題発表 12演題……「プログラム・抄録集」は支部ホームページをご覧ください。

- ◆一般演題 1 6演題 (16:10~17:20) 座長 松浦 武志(市立美唄病院)
- ◆一般演題 2 6演題 (16:10~17:20) 座長 加藤聡一郎(道東勤医協釧路協立病院)

## ◆学術集会並行企画 ※学生限定 (16:10-17:20)

### <学術並行企画 2024>

- 【講師】 :西村 涼先生(勤医協一条通病院)
- 【紹介文】 :毎年恒例、学生向けの交流企画です。今年は交流会に加え、コミュニケーションスキルを学べるロールプレイ企画も開催します。
- 【抄録】 :企画では普段関わる機会の少ない他大学・学部 of 学生やプライマリ・ケアの現場で働く医療者の方々と楽しく交流ができます。日々の講義や実習で考えたことについて気軽にお話したり、モチベーションアップにもつながる時間を提供します。今年はロールプレイ企画も用意しており、明日から活かせるコミュニケーションスキルも学んでいきます。アットホームな雰囲気、学生のみなさんのご参加をお待ちしています！

## ◆基調講演 (17:30-19:00)

- 【講師】 :永森 克志さん(医療法人社団ささえる医療研究所 理事長)  
稲本 夕海さん、今村 智之さん、西上 ややさん(株式会社まめ一ず、株式会社 CNC)
- 【タイトル】 :この場所で私たちにできること
- 【紹介文】 :地域で過ごす人たちが、健康でその人らしく生きるために、これから先も健康で豊かな地域を作っていくために、私たちにできることについて語り合います。少しでも地域に関わりたいと思っている人必見です。
- 【抄録】 :この地域の医療を活気づけたい、もっと地域を盛り上げたい、今までと同じように医療を提供したい。そんな思いの一方で人手不足や今後の不安を感じ、なんとかしたいけれど何から取り組めば良いのかわからない、という声も時々聞こえてきます。岩見沢、更別、それぞれの地域で行う「地域を支える活動」から、あなたに関わる地域の医療に目をむけ、関わる人を増やすために何ができるか、健康で豊かな地域を作るためにできることを一緒に考える時間にしたいと思っています。
- 【座長】 :渡邊 由桂さん(釧路協立病院、第11回北海道プライマリ・ケアフォーラム実行委員長)